

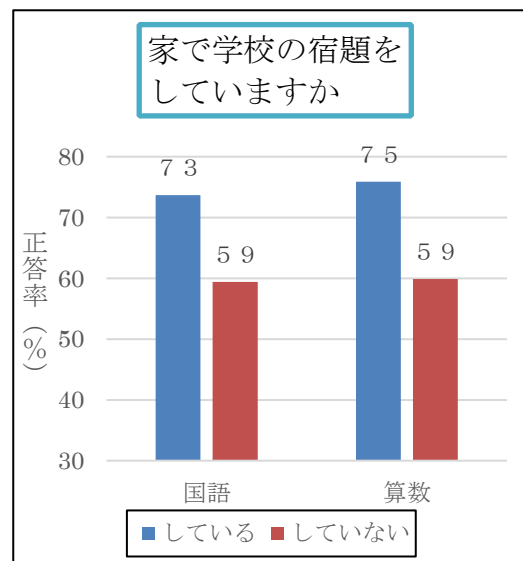
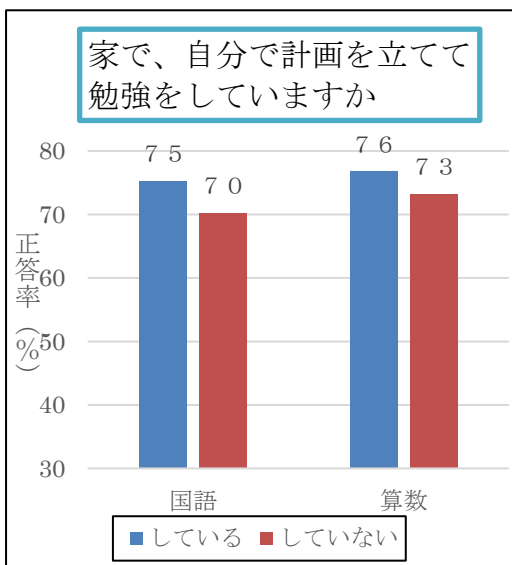


# 小学生用 家庭学習のすすめ

## 家庭学習はなんのためにするの？・・・家庭学習は学力の向上につながります

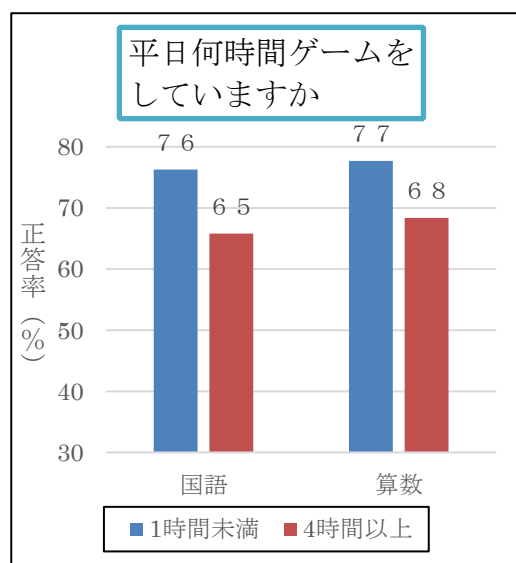
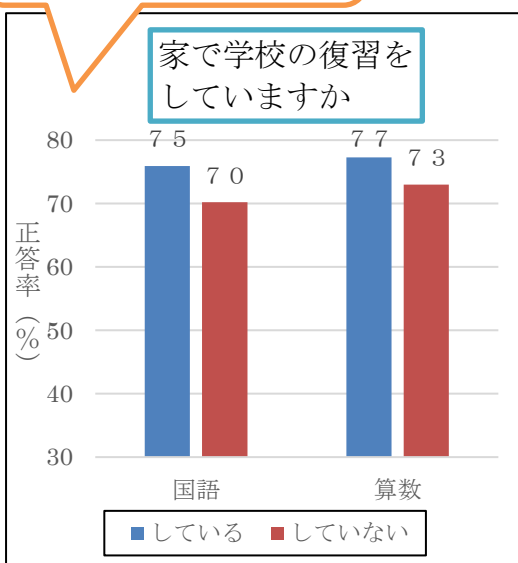
学校で学んだことをより確実に身に付けるには、家庭で漢字や計算などを毎日継続して学習することが大切です。全国学力・学習状況調査の結果を見ると、家庭で学習する習慣のある子どもは正答率が高い傾向にあることがわかります。そのため、テレビやゲームに費やす時間が長くなりすぎないように家庭で約束を決めておこなうようにしましょう。小学生のうちから、家庭学習の習慣を身に付けた子どもは、学年が上がっても自ら意欲をもって学ぶ傾向にあります。

## 平成29年度全国学力・学習状況調査 近江八幡市の小学校6年生の結果から



やはり家で宿題をしている方が正答率が高いことがわかります。

復習することで学習したことが定着します。



ゲームの時間が長い人ほど正答率が低くなります。時間を決めてするようにしましょう。

# 子どもたちの家庭学習をサポートするために

## 生活のリズムを整えましょう

毎日朝食をしっかり食べる、毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりする、テレビやゲームは時間や約束事を決めるなど、規則正しい生活リズムをつくりましょう。

## 学習しやすい雰囲気をつくりましょう

親子で一緒に学習する、親子で一緒に読書をする、学習の時間はテレビを消すなど、家族みんなで学習しやすい雰囲気や時間をつくりましょう。

## ほめ、認め、励まし、対話しましょう

家族からほめてもらったり、認めてもらったりすることは子どもたちにとって大きな励みになります。また、学校での出来事や社会で起こっていることなど子どもの話をていねいに聞き、親子で対話する時間をつくりましょう。

## 家庭でこんなふうにサポートしましょう

1・2  
年生

- ・自分で計画を立てて学習することはまだ難しい時期です。おうちのかたが一緒に取り組み、ほめたり、励ましたりすることで、子どものやる気を伸ばしましょう。
- ・まずは宿題から取り組みましょう。
- ・読み聞かせや読書を親子で一緒にしましょう。
- ・漢字や計算、音読など基礎的な学習を繰り返し行いましょう。

3・4  
年生

- ・さまざまなことに興味がわいてくる時期であり、自分でやろうとすることが増えますが、家庭学習のサポートはまだ必要です。引き続き、励ましのことがばがけをしましょう。
- ・時間を決めて学習するようにしましょう。
- ・宿題だけでなく、苦手だと感じていること、興味をもっていることに取り組むようにしましょう。

5・6  
年生

- ・成長に個人差が出てきて、自立しようとする様子が見られるようになります。子どもの自立心を尊重しながら、見守るようにしましょう。
- ・自分でできることは自分で解決させるようにしましょう。
- ・得意教科・不得意教科が出てきます。得意教科を伸ばすように声をかけるとともに、苦手分野の復習をするようにしましょう。